

しぼうさいこうざ だい かい
いわき市防災講座 第25回

しょうがくせい ぼうさい こう ざ ぜん かい
小学生の防災講座 (全3回)

だい かい
第3回

はや ひなん ひなん さき かく ほ
「早めの避難と避難先の確保」

さいがい おも
災害は思いがけず
やってくる



制作：いわき市危機管理部 災害対策課



だい かい
第3回

はや ひなん
「早めの避難と

ひなんさき かくほ
避難先の確保」



② キャロラインです。よろしくね！

- ① みなさん、こんにちは、防災おじさんです。
今回は、小学生の防災こうざの第3回「早めの
ひなんとひなんさきのかくほ」です。
今回は、キャロラインちゃんと話を進めていき
ます。





今まで、第1回の「災害リスクを知る」で、自分の住むまちで災害がおこるかのう性があるかを防災マップで確認しました。





第2回では、災害のしゅるいによって、注意する必要がある気象やひなんの情報を話しました。





津波

速やかに高台へ

大雨

明るく小雨の内に

高台に避難
してください

この図のように、ひなんの情報を知ったら、早めのひなんをする必要があります。





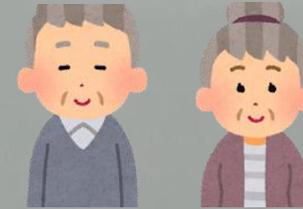
そのためには、ひなんする所をあらかじめ決めておくことが重ようです。
「ひなんする所」と聞いてどこが思い浮かびますか？





学校の体育館かな？
災害のときに ひなん 所になるって聞いたことがあるよ。

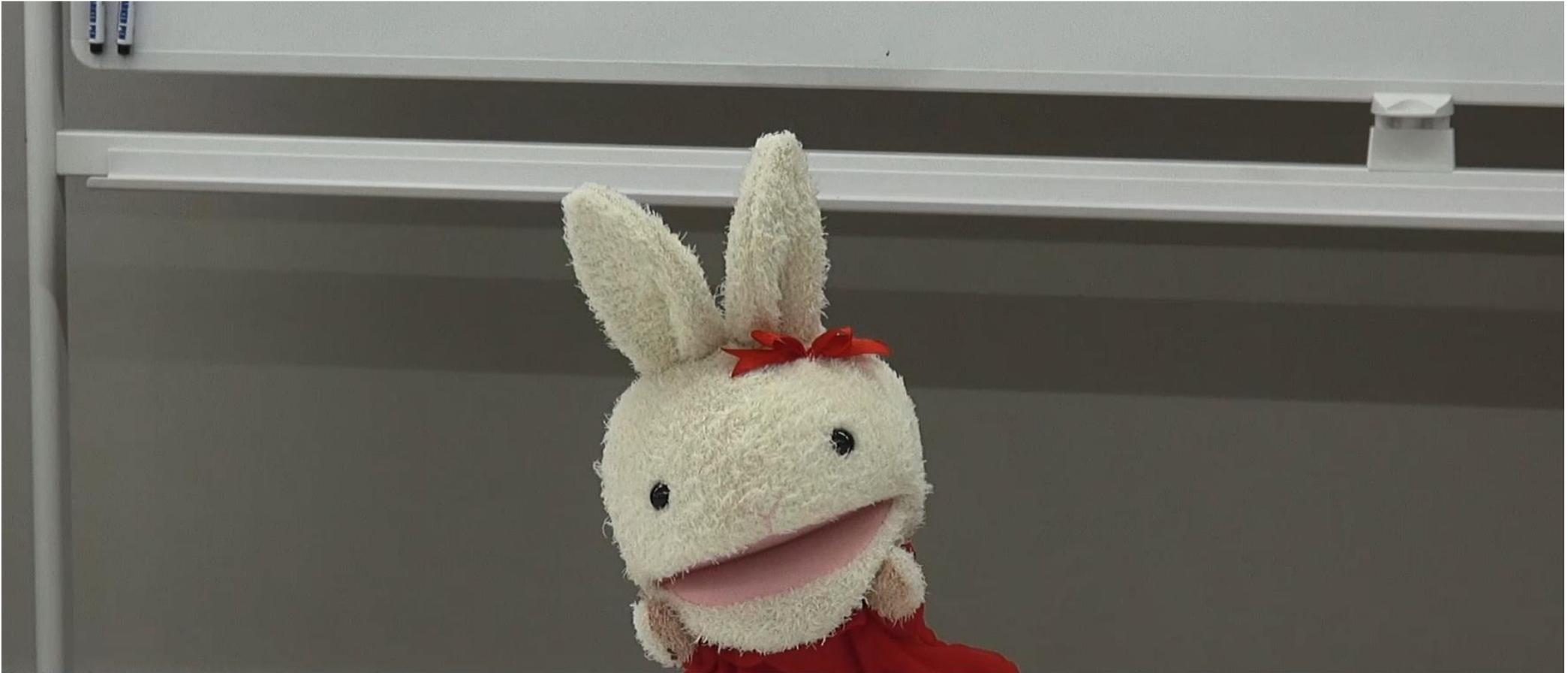




そうですね。ひなん所がありますね。でもひなん先は、市がかいせつするひなん所だけではありません。

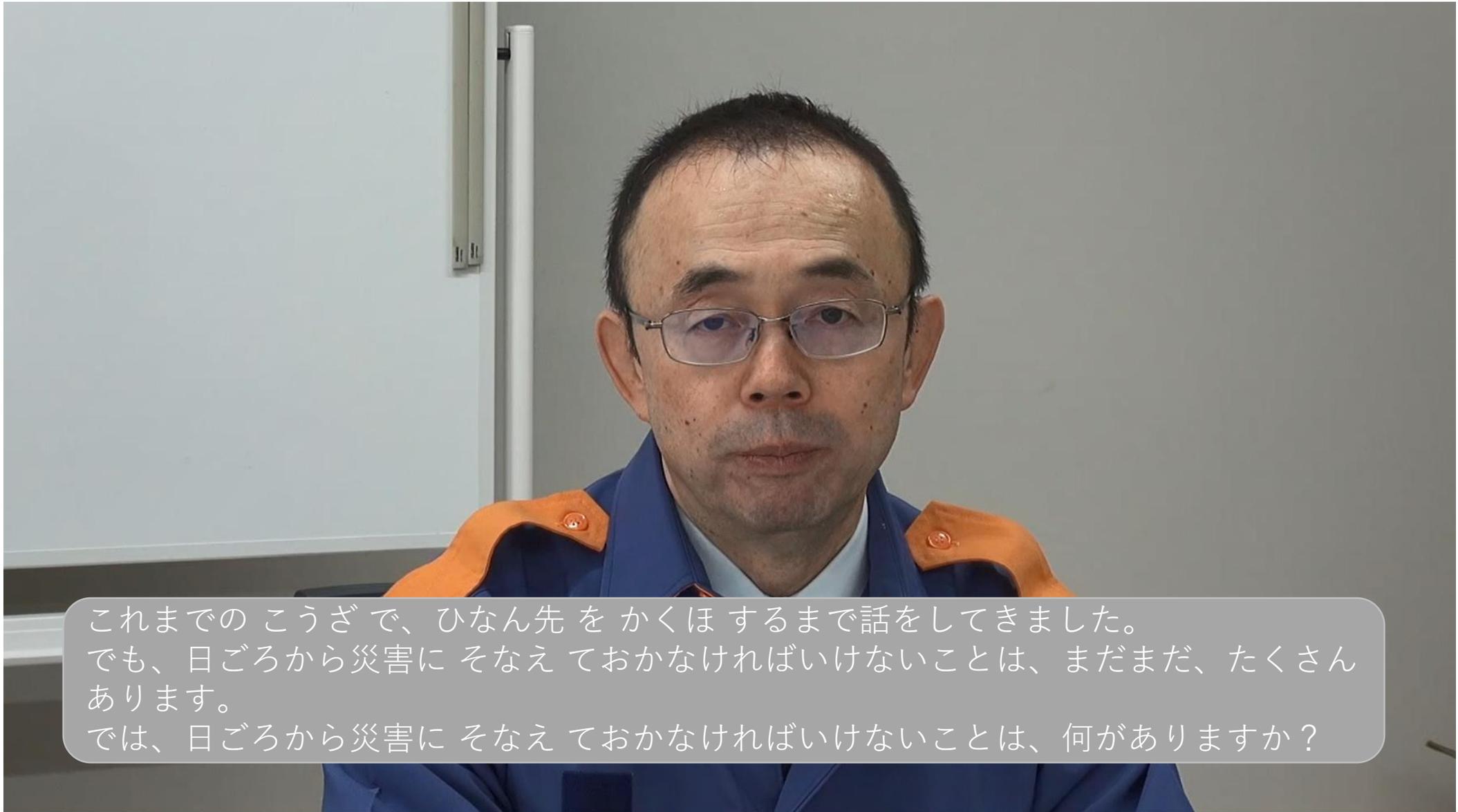
安全な場所に住むおじいちゃん、おばあちゃんの家やおじさん、おばさんなどの親せきなどの家もひなんする所として、とてもゆうこうです。





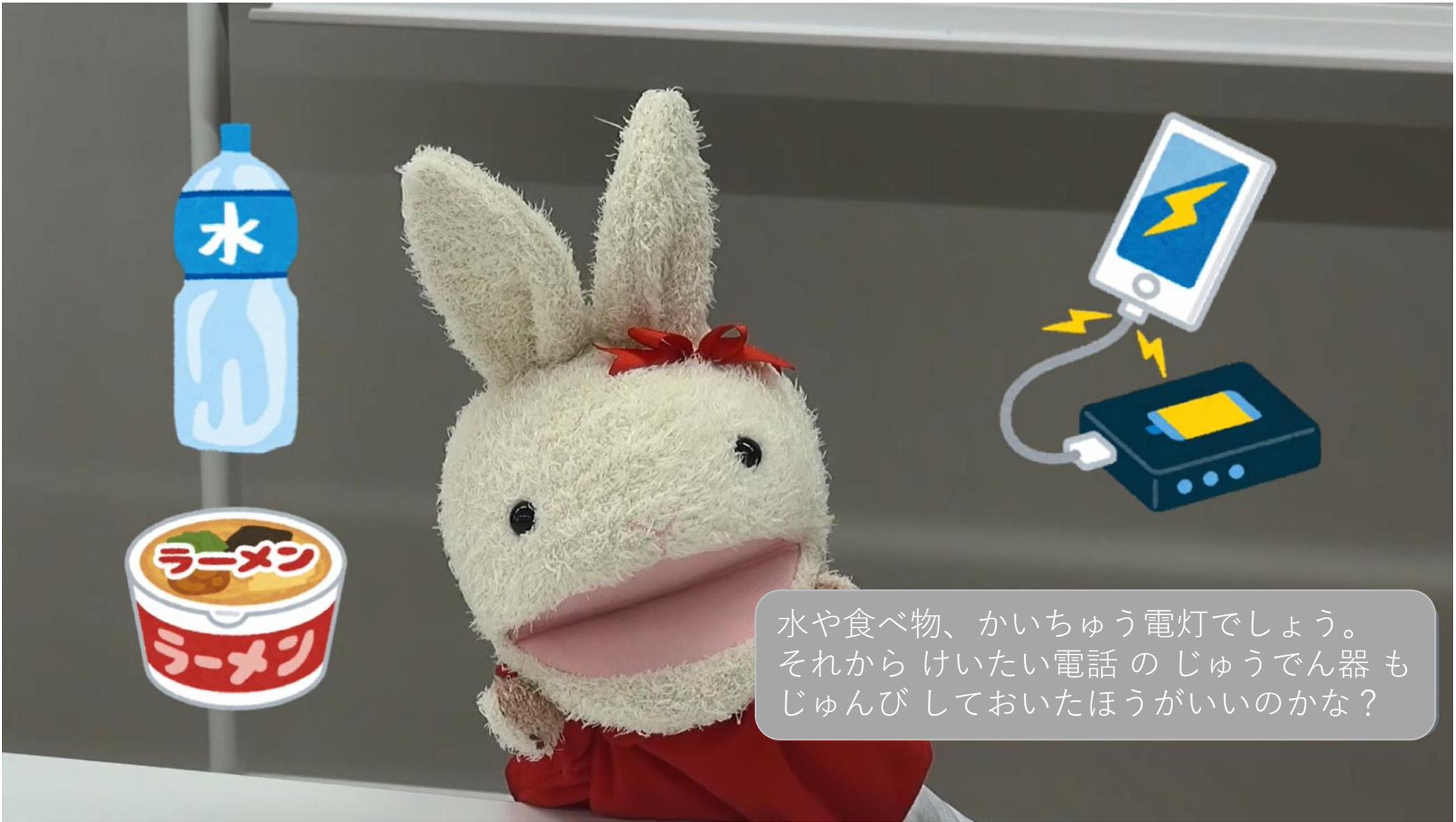
そうなんだ。おじいちゃんの家は、いわき市防災マップの色のついていない高い所にあるから安全なひなんさきにもなるんだね。





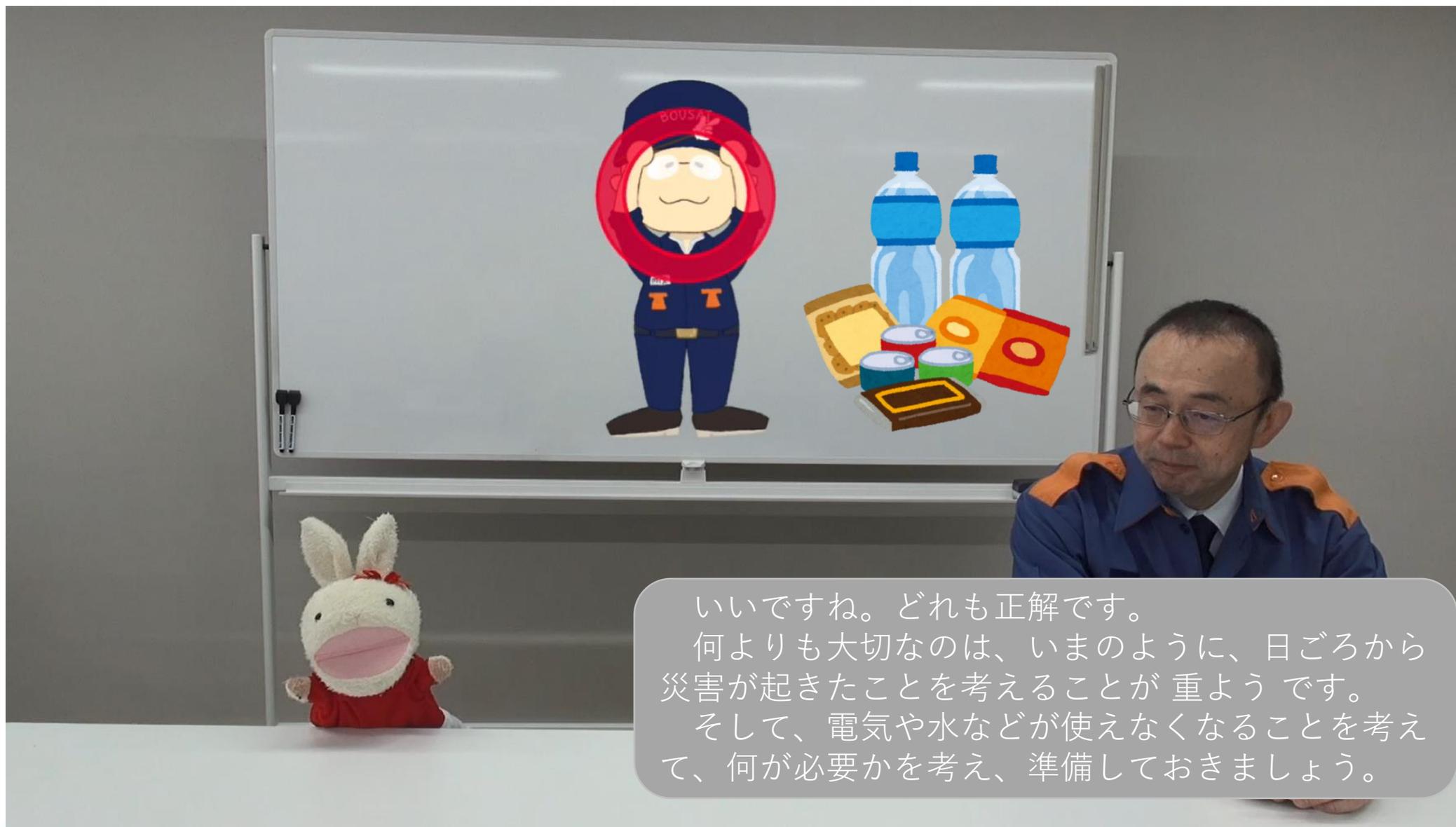
これまでのこうごで、ひなん先をかくほするまで話をしてきました。
でも、日ごろから災害にそなえておかなければいけないことは、まだまだ、たくさん
あります。
では、日ごろから災害にそなえておかなければいけないことは、何がありますか？





水や食べ物、かいちゅう電灯でしょう。
それから けいたい電話の じゅうでん器 も
じゅんぴ しておいたほうがいいのか？





いいですね。どれも正解です。
何よりも大切なのは、いまのように、日ごろから
災害が起きたことを考えることが重ようです。
そして、電気や水などが使えなくなることを考えて、
何が必要かを考え、準備しておきましょう。







え、どうしよう。いえの人に電話する。

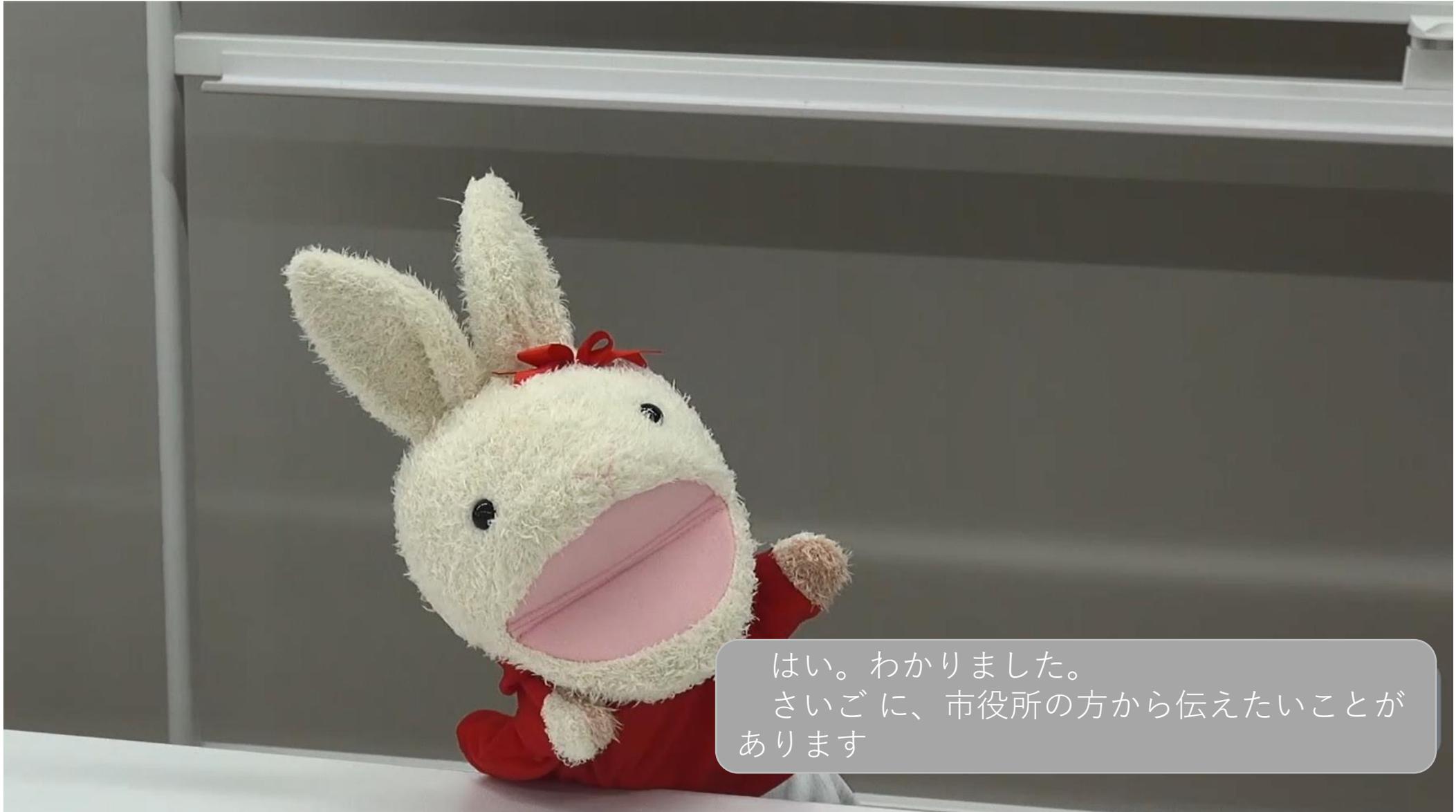




でも、電話が繋がらないかもしれませんよ。
1人で考えても、1人で考えるのにはげんかいがあります。
ひごろから、おとうさん、おかあさんや学校の先生と、災害について、いろいろ話しておきましょう。

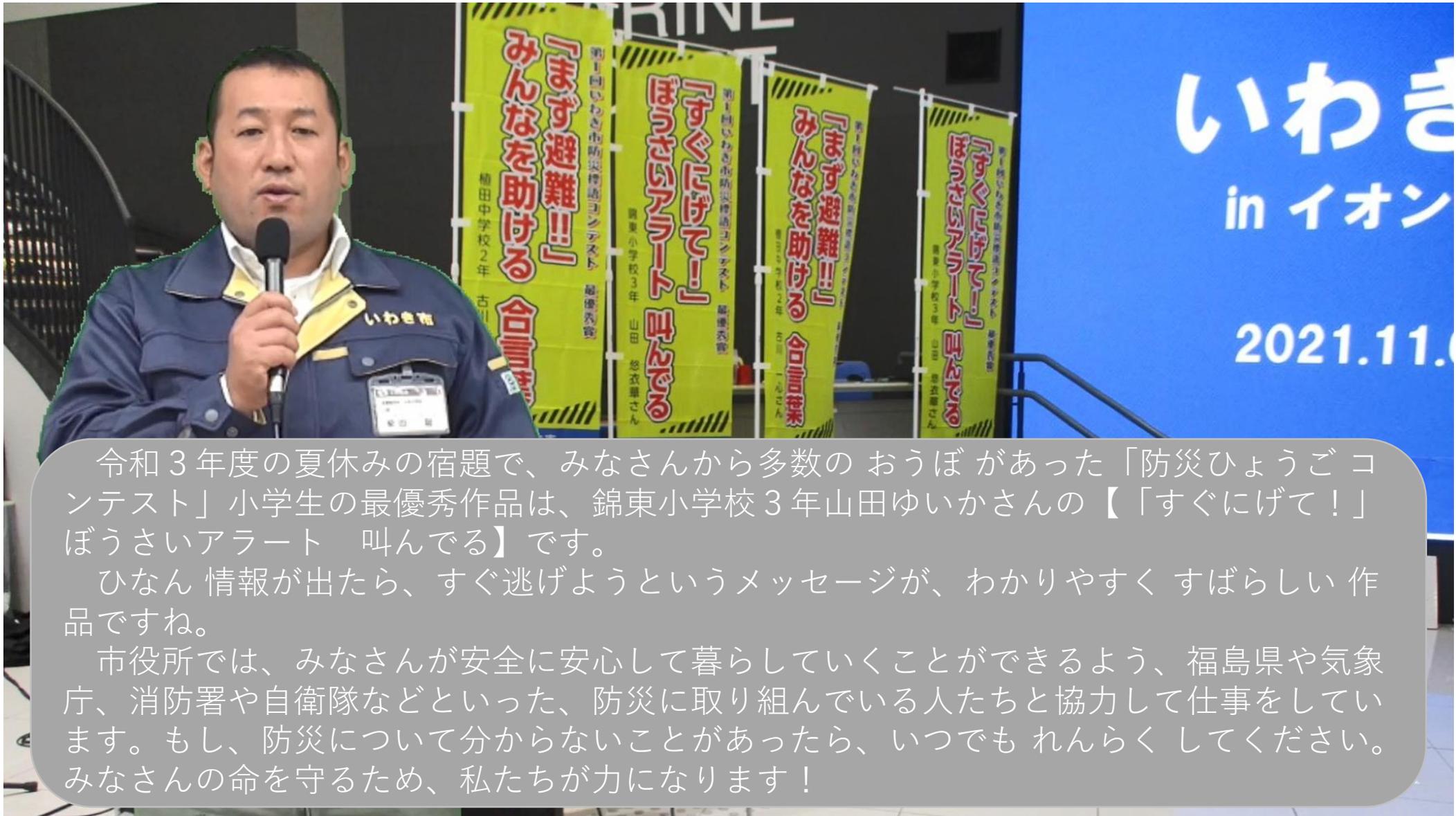






はい。わかりました。
さいごに、市役所の方から伝えたいことが
あります





令和3年度の夏休みの宿題で、みなさんから多数のおうぼがあった「防災ひょうごコンテスト」小学生の最優秀作品は、錦東小学校3年山田ゆいかさんの【「すぐにげて！」ぼうさいアラート 叫んでる】です。

ひなん 情報が出たら、すぐ逃げようというメッセージが、わかりやすくすばらしい作品ですね。

市役所では、みなさんが安全に安心して暮らしていくことができるよう、福島県や気象庁、消防署や自衛隊などといった、防災に取り組んでいる人たちと協力して仕事をしています。もし、防災について分からないことがあったら、いつでもれんらくしてください。みなさんの命を守るため、私たちが力になります！

